



# せんだんの木



令和7年2月17日 校長 各務 至

## 「なかよし」の運営は、いよいよ5年生に

※なかよし…1～6年の異学年のグループで、1グループ20人前後

2月7日（金）のなかよし遊びは、5年生が中心に進めていました。今回は、6年生は参加していません。活動の内容は、6年生を送る会の準備なのです。その具体に触れることは避けませんが、どのグループでも、「〇〇がいいと思う人は手を挙げてください。」などと、5年生が1～4年生から意見を聞きながら、内容を決めたりしていました。

このように、上級生の姿をあこがれや目標にしながら下級生ががんばっていく、良い循環が生まれています。授業ではなかなか学べないことでもあり、これからも、異学年の関わりを大切にしていきます。



## はっさくが実りました！



南運動場では、今年もはっさくが実りました。6年生が総出で収穫し、1つずつ洗い、全校に配ってくれました。正確には数えていませんが、1000個ほど採れたのではないのでしょうか。「みかんのようなおいがする」などと、はっさくをもらった1年生は嬉しそうに話していました。ちょっと酸っぱいかもしれませんが、記憶に残る味になりそうです。



はっさくは「八朔」と書き、八月（はちがつ）朔日（ついたち）ごろから食べられたことから命名されたとも言われています。しかし、和歌山県などの産地では12～2月ごろに収穫されていますので、今が食べ頃です。しばらく寝かせておくと酸味が落ち着くそうです。

職員室では、有志で皮をむき、実を絞って果汁100%ジュースを作りました。酸味はまろやかで、苦みもかすかに感じる程度で、6年生に感謝しながらおいしくいただきました。